

◆特別勘定に関する指標等

① 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	金額		金額	
個人変額保険	66,305		60,199	
変額個人年金保険	41,215		33,021	
団体年金保険	774,278		753,886	
特別勘定計	881,798		847,107	

② 個人変額保険及び変額個人年金保険特別勘定の状況

a. 2024年度の運用状況

国内外の株式相場については、年度前半は米国景気減速への警戒感等から一時下落しましたが、堅調な企業業績により米国景気のソフトランディング期待が高まったこと等を背景に、国内株式は下落幅を縮小、外国株式はプラスに転じました。年度後半はトランプ政権の経済政策への期待等から上昇基調で推移しましたが、年度末にかけては関税政策への警戒感等を背景に、下落しました。国内の長期金利については、年度を通じて、日銀の追加利上げ観測の高まり等を背景に、上昇しました。米国の長期金利については、年度前半は米国景気減速への警戒感等を背景に、低下しました。年度後半はトランプ政権の政策によるインフレ懸念等を背景に上昇しましたが、年度末にかけては関税政策への警戒感等を背景に、低下しました。為替（ドル円）については、年度前半は日銀が追加利上げに慎重な姿勢だったこと等から当初は大幅に円安ドル高方向で推移しましたが、夏場以降は米国の景気減速懸念等を背景に、一転して円高ドル安が進みました。年度後半は米国のトランプ政権誕生による景気加速への期待等を背景に再び円安ドル高が進みましたが、年度末にかけては米国の関税政策を受けた不透明感の高まり等を背景に、円高ドル安方向へ戻す動きとなりました。

こうした環境のなかで、個人変額保険特別勘定については、国内外の株式の構成比をやや高め、国内外の債券の構成比を抑えることを基本に運用しました。また、株式相場の上昇局面では国内株式・外国株式の一部を売却し、逆に下落局面ではその後の反発を見込んで買い入れを行いました。その結果、当年度の運用利回りはマイナスとなりました。変額個人年金保険のうち自社で運用する特別勘定については、基本資産配分並みの構成比を基本としつつ、相場の見通しに応じ構成比の調整を行いました。その結果、当年度の運用利回りはマイナスとなりました。変額個人年金保険のうち投資信託を主な投資対象とする特別勘定については、組入れ投資信託への投資を行いました。

b. 保有契約高

●個人変額保険

(単位：件、百万円)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険(有期型)	4	21	3	18
個人変額保険(終身型)	42,936	227,115	41,208	218,881
合 計	42,940	227,137	41,211	218,900

(注) 保有契約高には、定期保険特約部分を含みます。

●変額個人年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	件数	金額	件数	金額
変額個人年金保険	57,701	104,363	48,033	80,289

c. 特別勘定資産の内訳

●個人変額保険

(単位：百万円、%)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	1,334	2.0	190	0.3
有価証券	64,010	96.5	56,627	94.1
公社債	19,016	28.7	16,856	28.0
株 式	20,128	30.4	17,253	28.7
外国証券	24,865	37.5	22,517	37.4
公社債	6,345	9.6	4,932	8.2
株式等	18,520	27.9	17,584	29.2
その他の証券	—	—	—	—
貸 付 金	—	—	—	—
その他	959	1.4	3,381	5.6
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	66,305	100.0	60,199	100.0

●変額個人年金保険

(単位：百万円、%)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
現預金・コールローン	3,665	8.9	0	0.0
有価証券	34,184	82.9	27,978	84.7
公社債	10,788	26.2	—	—
株 式	3,793	9.2	—	—
外国証券	16,557	40.2	11,488	34.8
公社債	15,591	37.8	11,488	34.8
株式等	966	2.3	—	—
その他の証券	3,044	7.4	16,490	49.9
貸 付 金	—	—	—	—
その他	3,365	8.2	5,043	15.3
貸倒引当金	—	—	—	—
合 計	41,215	100.0	33,021	100.0

d. 運用収支状況

●個人変額保険

(単位：百万円)

区 分	2023年度	2024年度
	金額	金額
利息配当金等収入	1,026	1,070
有価証券売却益	5,990	4,929
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	18,951	14,219
為替差益	17	64
金融派生商品収益	150	55
その他の収益	2	6
有価証券売却損	733	1,008
有価証券償還損	24	—
有価証券評価損	11,893	19,548
為替差損	16	75
金融派生商品費用	169	162
その他の費用	0	0
収支差額	13,301	△447

(注) 2023年度の有価証券評価益 18,951百万円には有価証券振戻益 1,176百万円が、有価証券評価損 11,893百万円には有価証券振戻損 10,997百万円がそれぞれ含まれています。
2024年度の有価証券評価益 14,219百万円には有価証券振戻益 896百万円が、有価証券評価損 19,548百万円には有価証券振戻損 17,775百万円がそれぞれ含まれています。

●変額個人年金保険

(単位：百万円)

区 分	2023年度	2024年度
	金額	金額
利息配当金等収入	1,146	463
有価証券売却益	1,407	2,687
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	4,738	1,136
為替差益	8	18
金融派生商品収益	64	79
その他の収益	2	9
有価証券売却損	268	1,260
有価証券償還損	22	0
有価証券評価損	3,331	4,225
為替差損	2	21
金融派生商品費用	96	100
その他の費用	91	274
収支差額	3,553	△1,487

(注) 2023年度の有価証券評価益 4,738百万円には有価証券振戻益 668百万円が、有価証券評価損 3,331百万円には有価証券振戻損 2,753百万円がそれぞれ含まれています。
2024年度の有価証券評価益 1,136百万円には有価証券振戻益 578百万円が、有価証券評価損 4,225百万円には有価証券振戻損 4,069百万円がそれぞれ含まれています。

e. 有価証券等の時価情報

●売買目的有価証券

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	64,010	16,879	56,627	11,550

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区 分	2023年度末		2024年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	34,184	3,491	27,978	402

●金銭の信託の時価情報

<個人変額保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

f. デリバティブ取引の時価情報

●差損益の内訳(ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳)

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区 分	2023年度末						2024年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘッジ会計非適用分	—	—	4	—	—	4	—	0	—	—	—	0
合 計	—	—	4	—	—	4	—	0	—	—	—	0

(注)ヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区 分	2023年度末						2024年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘッジ会計非適用分	—	—	△ 4	—	—	△ 4	—	—	—	—	—	—
合 計	—	—	△ 4	—	—	△ 4	—	—	—	—	—	—

(注)ヘッジ会計非適用分の差損益は、損益計算書に計上されています。

●金利関連

<個人変額保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

●通貨関連

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2023年度末			2024年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約 売建 (米ドル)	—	—	—	—	—	—	—	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	—	—	
	(豪ドル)	—	—	—	—	—	—	—	
	買建 (米ドル)	—	—	—	—	—	—	—	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	—	—	
	合計							0	

(注) 外貨建金銭債権債務等が為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2023年度末			2024年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店頭	為替予約 売建 (米ドル)	—	—	—	—	—	—	—	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	—	—	
	買建 (米ドル)	—	—	—	—	—	—	—	
	(ユーロ)	—	—	—	—	—	—	—	
	合計							—	

(注) 外貨建金銭債権債務等が為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象より除いています。

●株式関連

<個人変額保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2023年度末			2024年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物 売建	994	—	4	4	—	—	—	
	買建	—	—	—	—	—	—	—	
	合計				4			—	

<変額個人年金保険>

(単位：百万円)

区分	種類	2023年度末			2024年度末				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
取引所	株価指数先物 売建	—	—	—	—	—	—	—	
	買建	362	—	△4	△4	—	—	—	
	合計				△4			—	

●債券関連

<個人変額保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

●その他

<個人変額保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

<変額個人年金保険>

2023年度以降期末残高がないため、記載していません。

③ 団体年金保険特別勘定の状況

a. 団体年金保険特別勘定特約の受託状況

(単位：件、億円)

	2023年度末		2024年度末	
	件数	時価残高	件数	時価残高
第1特約	1,436	7,726	1,425	7,475
合計	1,436	7,726	1,425	7,475

(注) 1. 件数は、各年度末に時価残高のある団体数です。
2. 特別勘定第1特約は、複数の団体年金のご契約資金を合同運用しています。

b. 特別勘定第1特約の時価残高の推移

(単位：億円)

	2023年度末	2024年度末
総合口A	1,614	1,563
総合口M	2,141	2,153
総合口S	947	831
円貨建公社債口A	876	912
円貨建公社債口P	259	224
円貨建株式口A	153	91
円貨建株式口B	121	113
円貨建株式口E	33	37
円貨建株式口P	517	514
円貨建株式口V	36	40
外貨建公社債口A	189	175
外貨建公社債口B	114	117
外貨建株式口A	615	609
短期資金口A	103	88
合計	7,726	7,475

c. 特別勘定第1特約の運用実績の推移

(単位：%)

	2023年度	2024年度
総合口A	25.65	△ 0.49
総合口M	9.48	△ 2.71
総合口S	4.55	△ 2.19
円貨建公社債口A	△ 1.95	△ 4.53
円貨建公社債口P	△ 2.20	△ 4.70
円貨建株式口A	42.20	△ 1.25
円貨建株式口B	27.22	4.74
円貨建株式口E	39.27	2.68
円貨建株式口P	41.29	△ 1.53
円貨建株式口V	55.46	4.01
外貨建公社債口A	15.56	1.35
外貨建公社債口B	△ 3.50	△ 1.95
外貨建株式口A	43.03	4.58
短期資金口A	0.00	0.20

(注) 運用実績はユニット価格伸び率を掲載しております。